

情報を迅速に公開するとともに皆さまとのコミュニケーション活動を積極的に推進します。

考えられる主なリスク

- ◆お客さまや地域の皆さまとのコミュニケーションが不足すると、当社事業へのご理解を得られず事業活動が滞ることにもつながり、業績は影響を受ける可能性がある
- ◆株主・投資家とのコミュニケーションが不足すると、信頼が低下し、資本市場からの適正な評価に影響する可能性がある

2017年度の主な取組み

- コミュニケーション活動の推進
- 情報公開の徹底
- 積極的な情報発信
- 原子力関係情報の公開・発信とコミュニケーション活動
- 株主・投資家ニーズを踏まえたIR活動

対話活動で接したお客さまや地域の皆さまの数 (2016年度実績)

約16.4万人

当社の企業活動についてご説明し、お客さまのご意見やご要望をお聴きするため、訪問活動、対話の会、出前講座など、地域の皆さまやお客さまとのさまざまなコミュニケーションの機会を活用したフェイス・トゥ・フェイスの対話活動を推進しています。

具体的な取組み事例の紹介

■原子力関連情報の公開・発信

原子力発電所の安全確保に向けた取組みや、発電所の運転状況に関する情報などについて、記者発表やホームページを通じて、迅速・的確に情報を公開・発信しています。

■原子力発電所の安全対策等に関するコミュニケーション活動

福島第一原子力発電所事故を踏まえた

- 原子力規制委員会が策定した新規制基準への対応状況
- 更なる安全性・信頼性向上対策の実施状況

など、当社原子力発電所の安全対策について、お客さまや地域の皆さまにご理解いただくため、九州全域において、訪問活動や発電所見学会などのフェイス・トゥ・フェイスのコミュニケーション活動を実施しています。

今後も、あらゆる機会を捉えたコミュニケーション活動を行い、皆さまのご理解や信頼を得られるように努めていきます。

■原子力情報の公開状況 (2016年度実績)

○2016年度の原子力関係記者発表件数：53件

発表件名件数	件数
原子力発電所定期検査関連	6
原子力発電所の新規制基準への適合性確認の取組み関連	10
原子力発電所の新燃料・放射性廃棄物等の輸送関連	1
訴訟関連	21
その他 (川内特別点検、玄海1号廃止措置計画 他)	15

○当社ホームページへの掲載内容

- 原子力発電所の概要
- 原子力発電所の運転状況、定期検査状況
- 原子力発電所のトラブル情報
- リアルタイムデータ(発電機出力、放射線データ)
- 原子力発電所の安全確保に向けた取組みについて
- 原子力情報(お知らせ)

○原子力情報公開コーナー

玄海エネルギーパーク及び川内原子力発電所展示館等に設置された「原子力情報公開コーナー」では、当社の原子力発電所に関するさまざまな情報を公開しています。

【公開資料(例)】

- 当社原子力関係公表文
- 安全協定
- 原子炉設置(変更)許可申請書
- トラブル報告書

TOPICS 玄海原子力発電所周辺地域の全戸訪問活動

玄海原子力発電所3、4号機については、2017年1月18日、原子力規制委員会より、新規制基準への適合性に係る原子炉設置変更の許可をいただきました。

当社では、玄海原子力発電所の安全対策や新規制基準への適合性審査の結果等に関して、フェイス・トゥ・フェイスで丁寧にご説明するとともに、地域の皆さまの声をお聴きすることを目的として、2月8日から19日までの12日間、玄海町及び隣接する唐津市の鎮西町、肥前町、呼子町の全戸(約7,500戸)を当社社員が訪問し、玄海原子力発電所の安全対策等についてご説明をさせていただきました。

